

田尻総合体育館周辺食事処 大会やイベント時の食事はココで!



MAP P32
■ピッコロ (びっころ)

昼間は喫茶店、夜はバーとして楽しめる「エビフライカレー」(1,480円)、「エビフライライス」(1,480円)など、ボリューム満点食べごたえのあるエビフライがイチオシ! 夜はバーになるので、要予約で飲み放題も。

■住所 / 大崎市田尻沼部字新富岡49-2 ■電話 / 0229-39-2942
■営業時間 / 11:30~14:00、17:30~23:00(ラストオーダー22:30)
■休 / 日曜



MAP P32
■あぎちゃん食堂 (あぎちゃんしょくどう)

長年地域に愛される昔ながらの駅前食堂 地元の人はもちろん、仙台や塩竈の人からも親しまれている食堂。リーズナブルな価格設定が魅力で、ラーメンは400円から! 人気は具だくさんの「みそラーメン」(500円)。

■住所 / 大崎市田尻沼部塩加良57-6 ■電話 / 0229-39-0322
■営業時間 / 10:00~22:00
■休 / 不定休



MAP P32
■海鮮たくみ (かいせんたくみ)

日替り定食や丼物からお膳料理までメニュー豊富 日替り定食(A680円、B1,000円)のほか、海鮮丼など丼物も豊富。寿司や天ぷら、刺身が楽しめる「たくみ松花堂御膳」(2,000円)は女性に人気のメニュー。前日まで要予約!

■住所 / 大崎市田尻沼部字新富岡47-1 ■電話 / 0229-38-1380
■営業時間 / 11:30~13:30(ラストオーダー13:15)、17:00~22:30(ラストオーダー21:00) ※土・日曜はランチ休み
■休 / 不定休



蕪栗沼



15分

加護坊山
四季彩館



徒歩すぐ

加護坊山

■加護坊四季彩館 (かごぼうしきさいかん)

山頂で味わう地元料理

加護坊山の山頂に位置し、絶景を見下ろしながら食事することができる。田尻産豚肉や地元の野菜たっぷりのすいとん汁がセットの「加護坊定食」(950円)がおすすめ。ふゆみずたんぼ米が味わえるレストランのひとつ。



MAP P32

■住所 / 大崎市田尻大沢字加護山178-1 ■電話 / 0229-39-0404 ■営業時間 / 4~9月10:00~18:00(ラストオーダー17:30)、10~3月10:00~17:00(ラストオーダー16:30)
■休 / 4~11月 第1月曜、12~3月 毎週月曜
■HP / <http://www.sikaisaikan.info/>



MAP P32

■加護坊山 (かごぼうやま)

目をみはる絶景に囲まれて自然を満喫

標高224mの豊かな緑につつまれた山で、山頂からは仙台から石巻まで360度のパノラマを見渡すことができる。四季折々の眺めが、疲れた目と体を癒してくれるはず。パークゴルフやキャンプも楽しめ、春の千本桜も有名。

■住所 / 大崎市田尻大沢字加護山178-1 ■パークゴルフ営業時間 / 8:30~17:00 (12月1日~3月31日は9:00~16:00)
■休 / 4~11月(毎月第1月曜)、12~3月(毎週月曜) ■1日利用料金 / 大人600円、子供300円(用具貸出し200円)
■問合せ先 / 0229-39-0404(加護坊四季彩館)

■蕪栗沼 (かぶくりぬま)

10万羽のマガンが飛来する自然の宝庫

約150ヘクタールの広大な湿地で、秋から冬にかけてマガンをはじめとする渡り鳥が飛来する越冬地として知られる蕪栗沼。天然記念物や絶滅危惧種など、貴重な動植物の宝庫で、2005年にはラムサール条約湿地にも指定された。冬の朝、7万羽もしくは最大10万羽が地響きのような音をたてて舞い上がり、空一面を覆い尽くす景色には、誰もが圧倒される。



11月頃は、日が暮れる時間と鳥たちが沼に帰ってくるタイミングが一致するため、社観で感動的な光景が見られる。

■住所 / 大崎市田尻蕪栗字大沼地内 ■問合せ先 / 0229-38-1401(蕪栗ぬまっこくらぶ事務局) ■HP / <http://www5.familie.ne.jp/~kabukuri/>

化女沼と蕪栗沼の魅力を深く味わうガイドツアーをお勧めします

NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ 事務局長 戸島 潤さん



大崎市には2つのラムサール条約湿地があります。蕪栗沼や化女沼をめぐらにするマガンやヒシクイが有名ですが、鳥を見に来る人々の目当ては他にもあります。

特に水鳥を獲物にするワシタカ類は人気。最も大きいオジロワシは、翼を広げると2メートルにもなります。水田を走り回るキツネの親子や、ザリガニを食べるイタチの姿も見られました。冬の沼めぐりは、大崎市の豊かな自然をあらためて感じることができます。

姿が見られます。運が良いと、空中でガンやカモを捕獲する決定的瞬間を見ることもできます。オジロワシが近づいて、驚いて舞い上がる水鳥の姿は、野生の迫力を感じさせます。

他にもオオタカやチュウビ、ノスリ、ミサゴ、コチョウゲンボウなど、多くの種類のワシタカ類が冬の沼に集まってきます。それぞれ小型のカモや小鳥、ネズミ、魚など、獲物となる生き物が冬の沼には豊富にいるからです。水田を走り回るキツネの親子や、ザリガニを食べるイタチの姿も見られました。冬の沼めぐりは、大崎市の豊かな自然をあらためて感じることができます。